



創 立 1993年12月1日
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500
 ホテル日航成田
 TEL/FAXL 0476-24-5044
 例会場 ホテル日航成田内
 TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーは機会の扉を開く

【 会長 ホルガー・クナーク 】

成田コスモポリタンRCターゲット
 「機会をとらえ、Take an action!」

〔会長：藤崎 政弘〕

第 1284 回 例 会

令和2年7月1日（水）

《クラブ協議会 1.》

- ◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長
- ◇ 国 歌 斉 唱 君 が 代
- ◇ ロータリーソング 奉 仕 の 理 想
- ◇ 四つのテストの歌
- ◇ お 客 様 紹 介 米山記念奨学会 奨学生 アリム・イケラム 様



◇ ニコニコ BOX

- ・藤崎 政弘 会長
 《一年間 よろしくお願い致します。》
- ・岩澤 弘 幹事
 《一年間 よろしく申し上げます。》
- ・飯島 一扶 会員
 《活動計画書のご注文ありがとうございます。昨日納品いたしました。》
- ・片岡 孝治 会員
 《先日、成田商工会議所総会において、関東商工会議所連合会から、日頃の駅前美化活動への貢献に対して、環境問題委員長として表彰を受けましたのでニコニコします。》



◇ 結婚記念日紹介

加瀬間 明彦 会員 << 7月 6日 >>

◇ 誕生日紹介

林 省 三 会員 << 7月 1日 >>

長谷川 吉 昭 会員 << 7月 4日 >>

藤 崎 政 弘 会員 << 7月 12日 >>

飯 島 栄 会員 << 7月 25日 >>

川 島 孝 之 会員 << 7月 27日 >>



◇ 委員会報告

◎ 米山記念奨学会委員会 山本 豊一 委員長

2020年4月より2年間にわたり世話クラブとしてアリム・イケラムさんを招聘致しました。ウイグル自治区出身の1990年生まれで、千葉大学医学課程で先端医学・薬学を勉強されています。あとはご本人よりお願いいたします。



・米山記念奨学会 奨学生挨拶 アリム・イケラム 様

今年度、奨学生として呼びいただきまして、ありがとうございました。私は新疆ウイグル自治区出身のアリム・イケラムと申します。現在千葉大学医学薬学部先端医学薬学専攻の博学生3年生です。病原菌の薬剤耐性、人に病気を起こすカビを研究しています。今後は支援していただいた皆様への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人間になりたいと思っています。これから2年間お世話になりますので、よろしくお願いいたします。



* 藤崎政弘会長より奨学金を贈呈しました。

—これ以降より、ZOOMを利用してリモート例会の予行練習として進行了ました。—

◇ 会長挨拶 藤崎 政弘 会長

会員の皆さん、こんにちは。今日から2020-21年度がスタートいたします。精一杯努めますので、よろしくお願いいたします。昨夜未明からの激しい風の影響や被害はありませんでしたでしょうか？被害の無い事を願っております。

ところで、今、新型コロナウイルス感染の第2波の不安が広まっており、社会や経済情勢がどう変わっていくか不安定ではありますが、このように多くの会員に参加していただき、有難うございます。会員自身やご家族、友人、関係者への感染防止対策には油断をされませんよう、日々の生活や仕事にご注意を頂きますようお願いいたします。今後の例会、親睦例会等におきましても、十分に考慮しながらも、リラックスした、楽しい例会となるよう運営にあたって参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。親睦例会が少なくなる分、つまらない会長挨拶



の機会が多くなりますが、1年間お付き合い下さい。

本日お客様として、米山奨学生のアリム・イケラムさんがいらっしゃっています。当初1年間の予定でしたが、2年となりました。新疆ウイグル自治区の自治区首府ウルムチ出身で、現在千葉大学大学院でカビの研究をされています。ようこそ我がクラブへ、徐々にロータリーの雰囲気慣れていってください。日本との平和の懸け橋となる、国際的な活躍を囑望されている方ですので、会員の皆さんも、積極的な交流を持っていただき、歓迎していただけますようお願いいたします。

さて今日の例会は、クラブ協議会となっております。会長の所信はその時に述べさせていただきますので、会長挨拶はここでとどめさせていただきます。有難うございました。

◇ 幹事報告 岩澤 弘 幹事

・本日、ZOOM 例会の予行練習をしていますが、当クラブのホームページに入り「ZOOM ミーティングに参加する」を選択すると、ZOOM 会議の現在の様子を見ることができます。

・再送した7月プログラムにおいて、「加瀬間明彦」会員の名前の漢字が違っていましたので、プログラム委員長にかわりお詫びと訂正を致します。

■回覧： 2019-20年度 地区大会記念誌

■例会変更：成田 RC・八街 RC

■その他： ・月信7月号を配布致しました。

・クラブ計画書ができ配布致しました。後日正誤表をお渡し致します。

・週報ファイル、ニューモラルをメールボックスに配布しております。

・例会終了後、理事会があります。役員・理事の方につきまして参加を宜しくお願い致します。



クラブ協議会 1. 進行：藤崎 政弘 会長



ただ今からクラブ協議会を開催いたします。進行役を私会長の藤崎政弘が務めさせていただきます。まず会長所信として、クラブ活動計画書の8ページをご覧ください。たくさんの時間を割き真剣に考えての所信ですので、読ませていただきます。

テーマとして、「機会をとらえ、Take an action!」とさせていただきました。企業活動でもそうですが、商機と見たら機敏な行動を起こす、と同じように成田コスモポリタン RC としてまた、1 ロータリアンとして地域社会に、日本に世界にどう貢献できるかを考えて行きたい年度とし、クラブとして、また個人、企業人として小さい事でも大切であるという行動をとっていきたいと考えました。よろしくお願ひします。

成田コスモポリタンロータリークラブは、創立以来27年を迎えることができました。会員数70余名を擁するクラブに成長し、維持されてこられた諸先輩方の行動力と結束力に敬意と感謝の念でいっぱいでございます。この伝統を継承し、クラブの発展に尽力してまいらる覚悟でございます。

さて、RI 会長、ホルガー・クナーク氏のテーマは、『ロータリーは機会の扉を開く (Rotary Opens Opportunities)』とし、ロータリーという扉の向こうには、自分を磨く無限の機会があり、人々の為にリーダーシップを発揮し、自分が他の人のためにできる奉仕活動のアイデアや機会を実践すること

を提唱しています。また、当地区漆原ガバナーは、『クラブが主役となり奉仕の理念の実践を！』をスローガンとし、他を思いやり、他の為になる事をしようという考え方で、クラブ会員が主役となり、奉仕活動の実践に取り組んでいきたいと思いますと提唱しております。奉仕活動が周囲にインパクトを与え、参加者の基盤を広げ、積極的なかわりをもたらす、実践に新たな適応力を生む。このローテーションがロータリーの基盤を確固なものとし、理念を高めていく事だと説いています。

我がクラブの伝統は、例会と親睦を大切にしている事です。例会はクラブ活動の根幹であり、その出席はクラブ奉仕の基本であります。例会によって会員の絆が生まれ、例会の充実が会員の資質の向上となり、クラブの活性化に通じ、奉仕活動の推進に繋がっていきます。また、親睦は会員の交流により、友情が生まれ、この友情が、クラブの活動や事業に積極的に取り組むための鍵となります。当クラブが大切にしている会員の「絆」と「友情」を以って、会員の増強を図り、クラブの持続的な発展・拡大を遂げる為にも、ロータリーの奉仕の理念を継承し、独創的で、変革を恐れない取組をして行きたいと考えます。

我々を取り巻く環境は、急激なグローバル化の進展により、人的、物的、資金的移動が短時間に行われ、社会・経済への影響は良くも悪くも一変してしまう事もあり、その速度は瞬時であり、その現象は想像を絶するものもあります。我々はこの世界に生かされ、様々な活動を通じ沢山の貴重な経験を積んできました。どのような困難な状況下におかれても、各自の事業を存続させ継続し、ロータリーの奉仕の精神と中核的価値観を心に刻み、会員の総力を結集して前進していきましょう。

「活動基本方針」

1. 2020 - 21 年度漆原ガバナーへの協力
2. 国際奉仕活動「カンボジアでの産後の母子ケア支援事業」の推進
3. 出席率の向上と会員拡大
4. 例会・親睦活動の充実
5. ロータリー財団、ポリオプラス基金、米山記念奨学会への寄付の推進
6. 会員基盤の向上を図る

以上の6つを重点に進めてまいります。

以下は、ロータリー活動の中でよく話題に上る標語でありますので、ここに示させていただきます。

「ロータリーのビジョン声明」

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。注釈：(2018-19 年度会長バリー・ラシン会長からの新しいビジョン声明)

「ロータリーの中核的価値観」

親睦 高潔性 多様性 奉仕 リーダーシップ。過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

注釈：(ロータリーとは何かを問われたときに、明確に答えられないのが現状です。その答えは、ロータリーが 100 年以上保ち続けてきた強みである上記の 5 つのキーワードです。)

- ・生活とビジネスにおける高潔性はそもそもロータリー創設のきっかけであった。
- ・親睦と多様性は私たちを結び付けるもの。
- ・私たちがここに集まっている主な理由は、奉仕活動、変化をもたらすこと。

「ビジョンを達成するための 4 つの戦略的優先事項」

1. より大きなインパクトを与える(奉仕活動が周囲に強い印象を与える)
2. 参加者の基盤を広げる(多様な参加者から新しいアイデアが生まれる)

3. 参加者の積極的なかわりを促す(参加者へのフォロー)

4. 適応力を高める(時勢にあった対応能力)

注釈：(国際ロータリーとロータリー財団の 2020-21 年度年次目標として採択された)

◎ クラブ戦略計画委員会

委員長：青木貞雄 副委員長：吉岡正之

委員：奥村國雄、高木正尊、藤崎政弘、岩澤弘、藤崎康人、萩原康宏



1. 今年度新設された「クラブ戦略計画委員会」委員長を仰せつかりました青木です。

副委員長は吉岡さん、委員は今年度会長・幹事の藤崎政弘さん、岩澤さん、昨年度会長・幹事の奥村さん、高木さん、来年度会長・幹事の藤崎康人さん、萩原さん、の事業の継続性を考慮した豪華メンバーで委員会を運営します。

2. ロータリーは、よく「単年度制」と言われますが、ロータリーに「単年度制」という規定はなく、おそらく、RI (国際ロータリー) 会長、ガバナー (DG)、クラブ会長等の任期が1年のため、ロータリーは単年度制と言われるようになったのだと思います。

3. DG、クラブ会長等が毎年変わり、新しい考え方でロータリー活動を展開するのも1つの方策ですが、RI は、1995 年に 120 万人に達した会員が、その後、頭打ち、停滞となったことから、会員増強、ポリオ根絶活動を始めとする公共イメージ向上等を中心に、長期的観点でロータリー活動の基盤強化を目指しています。尚、現在の世界のロータリアンは、その後も大きな変化がなく、121 万人強です。RI は、2004 年に長期計画を発表すると共に戦略計画委員会を立ち上げ、会員にアンケート調査を行った上で、2007 年、2011 年、2016 年に戦略計画を発表しました (当初は長期計画と称した)。そして、現在の RI 戦略的優先事項は、藤崎会長より説明がありましたが、当クラブ活動計画書 4 頁の漆原ガバナー挨拶文に記されている通りです。

4. RI は、会員が拡大した時期、DG がクラブの指導・管理より、長期戦略、会員増強、弱小クラブ建て直し等に集中して取組むよう、従来のクラブ・グループと DG の連絡役であった分区代理制度を廃止し、グループ・クラブの管理・指導を任せるガバナー補佐(AG)制度を導入すると共に、地区委員会組織の整理と責任明確化を図る DLP (District Leadership Plan) を、数年間の試験的プログラムとして導入後、2001 年に地区の義務規定として導入しました。

5. 他方、1990 年代末以降会員が減少・頭打ちに転じた状況に対応すべく、クラブを長期的に発展、活性化する目的で、クラブに長期計画委員会設置、委員会組織運営見直し等を求める CLP (Club Leadership Plan) を 2004 年に任意規定として導入しました。

6. このような中、私が DG を務めた 2016-17 年度 RI 会長 John Germ は、クラブの管理・指導は AG に任せ、また、ガバナー公式訪問はクラブ間情報交換を含めた複数クラブ合同公式訪問として回数を減らした上で、DG には、地区に戦略計画委員会を設置して長期的観点からの地区運営に取組むよう求めました。この結果、2016 年に当地区に設置された戦略計画委員会は、2001 年度に分区代理制度が廃止された以降も残っていた当地区分区の呼称を、2018 年グループに改称しました。また、現在、私を議長とする地区戦略計画委員会管轄下の地区グループ再編成会議において、当地区会員が最大時の 4,300 名強から 2,800 名強に減少したこと、グループ間で会員数に 116 名～333 名と大きな格差があること、及びグループ当たりクラブ数も 4～8 と格差があること等を勘案し、AG 責務の公平性追求、及びグループ間競争環境醸成を通じたクラブの活動活性化に繋げるべき、地区のグループを現在

の14→10に縮小すると共に、グループ間会員数・クラブ数格差是正を図るグループ再編成に取り組んでいます。尚、宇佐見 PDG（パストガバナー）を議長とする地区リーダー育成会議は、研修資料の作成を始めとする地区リーダー育成研修プログラムに取り組んでいます。

7. 以上の RI、及び地区における運営改革を踏まえ、本年度 RI クナーク会長が、クラブも5年後の姿を検討し、その具現化に長期的に取り組むべく求めた結果、漆原 DG は、昨年度で82クラブ中28クラブにしかなかった長期計画・戦略計画委員会を、全クラブが設置し、クラブの抱える課題を抽出した上で、長期的観点からクラブの発展・活性化を図るよう求めたため、当クラブも「クラブ戦略検討委員会」を設置することとなりました。尚、成田 RC は、当地区で最初に CLP を導入したため、長期計画委員会を通じて既にクラブの長期方針を策定・具現化に取り組んでいます。

8. 当委員会は、アンケート調査等を行ってクラブの課題抽出、クラブが5年後に目指す姿、今後力を入れて取り組むべき課題等を検討、策定し、設定した目標具現化に長期的観点から取り組みます。

9. 当クラブは、退会者が少なく、スタート時の47名から会員数が順調に増加すると共に、会員間の友好関係も良好ですが、歴史のあるクラブの中には、会員の高齢化で気が付くと会員が大幅に減少したクラブもあり、場当たりの対応では、当クラブも将来の保証はありません。そして、例会出席率、また、地区委員会セミナー／地区大会等への出席率が低い、地域を始めとする奉仕活動実践、及び地区委員会セミナーへの参画が低調、ロータリー情報・活動等への関心が低い等々、他クラブと比して当クラブの課題も多々あります。アンケート実施、及びその後の長期目標策定に当たっては、クラブの活動活性化、及び将来の発展に向けた皆様の積極的な参画を期待しています。

少々長くなりましたが、以上を以て新設「クラブ戦略計画委員会」の活動説明とします。

◎ クラブ運営管理統括委員会 統括委員長：藤崎康人

当クラブの柱である親睦をはかるために、日頃の例会の内容の充実と親睦活動の充実という両輪の計画を立てて、皆様に関心を持てるような例会をできるよう力を入れていきたいと思っております。これは当クラブ27年の歴史の中で脈々と受け継いできた形ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響で一時休会になりましたし、会食などの親睦会も制約を受けますが、その制約の中でできるだけ活動が可能になるよう計画を立てていこうと思っております。皆様の中もお考えがあれば、ぜひ提案いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



☆ プログラム委員会

委員長：加瀬 邦雄 副委員長：加藤 栄徳

委員：池田和彦、長谷川浩史、大和田宜詳、神崎俊明、石橋孝浩

プログラム委員会は、ロータリーの基本となる例会の充実を目指し、出席したくなる例会になるよう努力してまいります。また、新型コロナウイルスへの対応からオンラインでの参加も可能にして、誰もが気軽に例会に参加できる新しい取り組みに挑戦して例会の扉を広げていきます。さらに、親睦活動委員会と連携して会員と会員のつながりが深まるよう一年間頑張ります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



☆ 親睦活動委員会

委員長：菊地裕文 副委員長：戸村正宏

委員：城之内利彦、山本博久、小泉榮助、大矢桂介、牧和宏、米山信一

会員相互の友情や信頼関係を深めるため、例年通り親睦例会を開催していきたいと思いますが、新型コロナの状況がありますので、対策を立てて安全に例会を行ってまいります。ご家族の参加できる例会も計画しております。また会員の近況や価値観を知る事にもつながりますので、ニコニコ BOX へのご協力もお願いいたします。



◎ 奉仕プロジェクト統括委員会 統括委員長：高木正尊

創立以来ロータリーの精神をもって功績を残されてきた諸先輩方の足跡を大事にしなが、また、現在の世の中の在り様を見て私達がどのような奉仕活動ができるか、模索し実践できればと考えております。職業を通して私達ができる奉仕、社会への奉仕、世界的な目を持つての国際奉仕、時代を担う青少年の奉仕という事で、各委員会と協力して連携をはかりながら、長期的な奉仕活動の推進を進めたいと思います。



☆ 職業奉仕委員会

委員長：澤田順行 副委員長：宇都宮高明 委員：林省三、成尾正行

クラブ活動計画書に目標等を載せてありますが、特に3番目のペットボトルキャップ収集事業のPRと事業の明確化については、自分が努力する事で皆様にご理解いただけるかと思ひます。例会に参加する際にキャップをお持ちいただけるよう、量りのついた箱等を用意して、目に見える形で皆様に実感していただけるような努力をしたいと思います。



☆ 社会奉仕委員会

委員長：鳥海直樹 副委員長：小林章 委員：瀧田隆、渡辺博光

地域のニーズを検討し、積極的に関与、貢献して交流を深め、RIテーマを推進していきます。私はロータリーの経験が少ないのですが、高木委員長を始め、諸先輩方のご意見ご指導を賜りながら、頑張ってまいりたいと思ひます。



☆ 国際奉仕委員会

委員長：神谷修一 副委員長：飯島栄 委員：大木裕信、小幡晋彦、宮本和也

国際奉仕に対する会員の皆様の関心を高め、国際奉仕活動の推進を目指します。活動計画としましては、PHJを通じてカンボジアへの支援事業を推進します。地区補助金を活用した事業の推進という事で、産後の母子ケア支援事業に120万円（地区補助金60万円とクラブ60万円）の事業費予算がありますので、来年皆さんとカンボジアへ向かう予定でおります。会長の活動方針の2番目にある事業ですので、手綱を引き締めて、今年1年活動してまいりたいと思ひます。



☆ 青少年奉仕委員会

委員長：藤崎祥弘 副委員長：山本武広 委員：越川和哉、飯島一扶

藤崎会長から県に出向してくれという事で、2月13・14日に鴨川ユニバースホテルでRYLAを行うそうで、早速今月から月1回鴨川で打合せをやるそうです。他の委員が君津2人鴨川1人という事で、行ける限りは行きたいと思っています。



◎ 会員増強統括委員会 統括委員長：大竹清治

会員増強は、会員選考・ロータリー情報・会員増強と関連性の強い3委員会を束ねており、ロータリーの組織の維持のために非常に重要な機能だという事を認識しております。また会員増強の中で齋藤委員長が会員増強数80名と非常に高い目標を掲げていますが、私共の委員会だけでは達成する事は困難ですので、ぜひ皆様のご協力をいただきながら、80名を目指して活動してまいりたいと思います。



☆ 会員選考・職業分類委員会

委員長：石井量久 副委員長：滝澤政樹 委員：太田不二雄

クラブ活動計画書の57頁以降に職業分類の表がありますが、興味深い部分だと思いますので、ぜひご覧いただきたいと思います。空欄の職業は、かつてその職業分類の方がいたのだと思います。どのような職業があるのか興味を持っていたいて、新たな職業分類を考えていくのも面白いかと思います。色々な職業の方と出会えるのがロータリーですので、未充填分野の職業の方を紹介していただけるよう努力していただければと思います。



☆ 会員増強・出席委員会

委員長：齋藤和彦 副委員長：宮田明俊 委員：加瀬間明彦、石原紀一

新会員の増強で全体80名を目標としました。また出席率80%、ガバナー公式訪問での出席率100%を目指します。22日のガバナー公式訪問のお返事を46名からいただいてまして、出席がメーキャップ含めて42名となっています。本日まで出席の方でまだFAXをいただいていない方がいらっしゃいましたら、よろしくお願ひいたします。



◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長

◇ 出席報告 *メーキャップは前後2週間です。

	日付	会員数	免除	出席	欠席	M U	出席率	補正出席率
前々回修正	6月17日	73名	5名	40名	29名	2名		59.15%
本日例会	7月1日	71名	5名	47名	23名	0名	67.14%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022